

シネラ

シネラ・ニュース  
February.2001 No.55

特集

日本映画 文学散歩

特集

戦乱の20世紀

2



事件の一部始終を知る物言わぬ目撃者たちが、ここに戯れる。  
人の世の出来事などとは、まるで無関係に時は過ぎる。

『点と線』 イラスト&文:山下良平

# 特集 戦乱の20世紀

ベトナム戦争、イラン・イラク戦争等、20世紀のアジアを舞台にした戦争、戦乱を背景にした作品群を特集。

会期：1日(木)～12日(月・振休) ※休館日・休映日を除く

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

●定員制、各回入替制。●チケットはすべて当日券です。前売り券はありません。

●福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の呈示が必要です。)

## 20世紀に描かれた戦争

今回の特集は昨年11月にシネラで開催した「戦争を描く」のアジア版です。20世紀が産んだ映画というメディアは、各国の歴史を記録し、描いてきました。中でも戦争はどの国においても最ももポピュラーな題材の一つです。歴史・民族の記録は、戦争や紛争の記録と一致するものがあります。20世紀のアジアを総括するというのは大げさですが、21世紀初頭の企画として、アジア各国で製作された戦争や紛争を描いた作品を集めました。

「大いなる路」はその背景に日本との戦争があります。「ハノイ、1946年冬」「ハノイの少女」「祈り」のベトナム映画の3本は、第二次大戦後から30年にも渡って戦争状態が続いたこの国の歴史を描くものです。ベトナムはある意味、20世紀を象徴する国の人かもしれません。同じくインドネシアのオランダからの独立戦争をテーマしたものが「血と祈り」です。古い作品であり、不完全な状態のプリントしか現存していませんが、公開当時インドネシア国民が熱狂した貴重な作品です。「帰らざる海兵」は朝鮮戦争を、「カルヘからラインへ」「戦火の中へ」はイラン・イラク戦争を、そして「空白のページ」はカンボジアのポルボト政権の時代を背景としています。いずれも20世紀の重要な歴史上の出来事でした。また我々日本人にとっては未知の存在ともいえる東南アジアの国、ラオスの作品「レッド・ロータス」は、この国歴史の一端を教えてくれる貴重な作品です。

アジア各国が植民地から独立して、社会主義にせよ自由主義にせよ、自らの意志で自分の国を決めようとしてきた、そこには様々な軌跡があったにせよ、20世紀とはそういう時代だったのかもしれません。21世紀が再び戦争の時代とならないことを祈りつつ、そのための教訓として戦争の映画が役に立てば、これ以上の喜びはないでしょう。

1(木) ハノイ、1946年冬

14:00 Hanoi, Winter 1946

監督:ダン・ニヤット・ミン  
出演:グエン・ティエン・ハイ  
日本語・英語字幕付き  
1996年/35ミリ/カラー/94分/ベトナム

1(木) ハノイの少女

19:00 The Little Girl of Hanoi

(日・祝)  
11 11:00

監督:ハーベー・ニン  
出演:ラン・ファン  
日本語・英語字幕付き  
1974年/35ミリ/モノクロ/77分/ベトナム

2(金) 祈り

14:00 Gone, Gone, Forever Gone

(月・振休)  
12 15:00

監督:ホー・クアン・ミン  
出演:ファン・ズン  
日本語・英語字幕付き  
1996年/35ミリ/カラー/84分/ベトナム=スイス

1945年ベトナム民主共和国が成立するが、46年の12月には再びベトナムを支配しようとするフランスとの間にインドシナ戦争が勃発する。この作品はホー・チ・ミン主席とフランス大使との連絡係に任命された青年を中心に、ホー・チ・ミン主席がフランスとの戦いを決意するまでの過程が描かれる。

ベトナム戦争で焦土と化したハノイの街を、バイオリンケースを抱えて、父親の行方を捜す少女。彼女の父親はミサイル戦隊で働いており、親切な兵士が彼女を父親のもとに護送していくことになる。少女は車の中で、死んだ妹や暖かい家庭の夢を見るのだった。ベトナム戦争中に、米軍の爆撃の合間にぬって撮影された作品。

フランス植民地末期からベトナム戦争を経て、南北統一までのベトナムの歩みを、ベトナム中部の工に住む1人の姉と2人の弟に重ね合わせて描いた作品。尼僧になる姉、南北ベトナムに別れ違う2人の弟。そして統一後の3人の再会。ベトナムの歴史を鎮魂の念で描いたベトナム映画の傑作。

カンボジア、ポルボト政権が誕生してしまもなく、パリに住むウアスナーは共産党の幹部である夫の要請をうけて帰国する。ところがウアスナーが連れて行かれたのは、キャンプと呼ばれる共同体で、アンカーという不思議な神が支配する世界だった。ポルボト時代の実態を描いて衝撃を巻き起こした作品。

2(金) 空白のページ

19:00 White Page

10(土) 15:00

監督:ホー・クアン・ミン

出演:ファン・デウン

日本語・英語字幕付き

1991年/35ミリ/カラー/99分/カンボジア=スイス



3(土) レッド・ロータス

11:00 The Red Lotus

8(木) 14:00

監督:ソムオック・スッティポン

出演:ウォンドゥアン・ポンサワン

日本語・英語字幕付き

1988年/35ミリ/モノクロ/84分/ラオス



3(土) 大いなる路

15:00 The Big Road

9(金) 19:00

監督:スン・ユイ

出演:チン・イエン

日本語字幕付き

1934年/35ミリ/モノクロ・サウンド版/109分/中国



4(日) 戦火の中へ

11:00 Hoor on Fire

8(木) 19:00

監督:アズイゾラー・ハミド=ネジャド

出演:メヘディ・ファギー

日本語・英語字幕付き

1992年/35ミリ/カラー/99分/iran



4(日) 血と祈り

15:00 The Long March

9(金) 14:00

監督:ウスマル・イスマイル

出演:デル・ジュザン

日本語字幕付き

1950年/35ミリ/モノクロ/129分/インドネシア



7(水) カルヘからラインへ

14:00 From Karkhe to Rhine

(月・振休) 12 11:00

監督:エブラヒム・ハタミキア

出演:ホマ・ルスター

日本語字幕付き

1992年/35ミリ/カラー/93分/iran



7(水) 帰らざる海兵

19:00 The Marines Who Never Return

(日・祝) 11 15:00

監督:イ・マニ

出演:チャン・ドンフィ

日本語字幕付き

1963年/35ミリ/モノクロ/109分/韓国



イラン・イラク戦争の最中。息子が前線から戻つてこないため、年老いた父親が戦場まで会いに来る。父親は郵便を運ぶボートに乗せてもらい、イラク軍の放火を潜りながら息子に会いに行くのだった。1980年から8年続いたイラン・イラク戦争を題材にしたイラン映画は多く、本作も湿地帯を舞台に緊迫した映像が展開する。

第二次大戦終了後、インドネシアは49年までオランダとの独立戦争の時代に入る。この映画は独立前の48年、スマルトとアダムという二人の将校率いる軍隊が、東ジャワから西部まで長い距離を行動する過程を描いている。インドネシア映画の父と言われるイスマイル監督の、現存する貴重な作品である。※一部音声不良の個所あり。

イラン・イラク戦争終結後。サイードはイラク軍の毒ガスによって失明し、眼を手術するためにドイツのケルンにやってくる。ドイツにはサイードの姉が結婚して住んでいた。サイードは手術のおかげで眼が見えるようになるが、今度は白血病になってしまう。戦争による傷の深さを静かに力強く訴え、高く評価された作品。

朝鮮戦争を舞台にした作品。韓国海兵隊は仁川上陸作戦後、ソウル奪還を目指して進軍していく。中国軍との戦い以外に、海兵隊員たちの家族や恋人達の思い、平和への希望が描かれる。当時の韓国スター総出演で製作された戦争映画であり、優れた娛樂性をも兼ね備えて、巨匠イ・マニ監督の傑作と評価されている。

国名 年代

1930

1940

1950

1960

1970

1980

上映映画

韓国

「帰らざる海兵」

中国

「大いなる路」

ベトナム

46 インドシナ戦争 54

ベトナム内戦～ベトナム戦争 75

「ハノイ、1946年冬」「ハノイの少女」「祈り」

ラオス

54

ラオス内戦

73 75 社会主義政権誕生

「レッド・ロータス」

カンボジア

70 カンボジア内戦 75 76 ポル・ボト政権誕生

「空白のページ」

インドネシア

45 独立戦争 49

「血と祈り」

イラン

80 イラン・イラク戦争 88

「戦火の中へ」「カルヘからラインへ」

(注) 上映映画の背景となる戦乱以外は記載しておりません。



総合図書館では、収集する映像作品のアーカイブ権(永久保存権)を取得しています。このアーカイブ権の取得により、収藏した作品を館内で永久に保存し、繰り返し上映することができます。

さて、図書館が収集する作品の一つにアジアフォーカス福岡映画祭での上映作品があります。アーカイブ権を取得するため、映画祭期間中にゲストとして来福した権利者にお会いして、権利交渉を行います。幸いにもアジアの映画関係者には、当館がアジアのフィルムセンターを目指している趣旨を良く理解していただけており、交渉はスムーズに運ばれることができます。

イランのマジド・マジディ監督が「天使のような子どもたち」(劇場公開「運動靴と赤い金魚」)(アジアフォーカス福岡映画祭'97)でモントリオール国際映画祭のグランプリを獲り、大手映画配給会社のミラマックス・フィルムズと配給契約を交わした時には、私たちは「図書館へのアーカイブ権の譲渡は、ミラマックス社側からの許可が当面おりないだろう」と思いました。しかし、私たちの映像作品保存に対する熱意を理解する監督は、ミラマックス社をみごとに説得し、図書館との契約はまるく収まりました。次の作品「カラー・オブ・パラダイス」(劇場公開「太陽は、ほくの瞳」)(アジアフォーカス福岡映画祭'99)もモントリオール国際映画祭のグランプリに輝き、再びミラマックス社と配給契約が結ばれましたが、この



マジド・マジディ監督

## 「権利交渉—映画人との素敵なお会いー」

作品も問題なく収集することができました。私たちの熱意を監督が理解していなかったら、名譽ある国際映画祭でグランプリに輝いた作品のアーカイブ権を、受賞したその同じ年に取得することはできなかつたでしょう。

また、初めてお会いする権利者に、私たちの映画に対する姿勢を理解してもらうため、映画祭期間中に「図書館見学ツアー」を実施しています。フィルム収蔵庫を中心とした施設の見学、さらには当館で英語字幕を製作した日本名作映画の鑑賞をもらいます。それまでは、アーカイブ権の譲渡に多少の不安を抱いていた権利者も、フィルム収蔵庫を見て「私の国のどの施設よりもフィルムが保てる」と感激され、この印象が困難に見えた契約の交渉をまとめるきっかけになったりします。山登りが好きなトルコのレイス・エリツキ監督(アジアフォーカス福岡映画祭'98「そこに光を」、「99「グッバイ・トゥモロー」)からは、フィルム収蔵庫を見た感激のあまり、油山の方向を指差し「あの山に一緒に登りましょう」と誘われることもあります。

権利交渉というと大変な仕事に聞こえますが、いろいろな映画人との素敵なお会いがあり、たくさんの感動を共有できる本当に素晴らしい仕事だと思っています。

これからも、権利者の著作権を尊重しながら、アジアの名作映画のアーカイブ権を取得し、シネラで上映できるように努めています。

映像調査専門員 David Kalischer

## INFORMATION お知らせ

### 各団体の自主上映

- 2月24日(土)11:00/14:00  
「砂糖菓子が壊れるとき」(監督:今井正)  
観覧料/前売:1,000円  
当日:1,500円  
主催/W・L・C福岡  
(Tel. 092-741-7687 爪生史郎)
- 2月25日(日)11:00/14:00  
「ダイナマイドんどん」(監督:岡本喜八)  
観覧料/前売:1,500円  
当日:1,800円  
中高生・シニア:1,000円  
主催/福岡映画サークル協議会  
(Tel. 092-781-2817)

※自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。

### シネラNEWS送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしておりますが、ひと月分の3月号を残すのみとなりました。引き続き平成13年4月号~平成14年3月号までの購読を希望される方は、郵便切手(90円×12月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。継続のお申し込みをお待ちしております。  
宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1  
福岡市総合図書館 映像資料課

### 次号予告

※変更の場合もあります。あらかじめご了承ください。

- 3月1日(木)~11日(日)  
特集 高峰秀子 「カルメン故郷に帰る」「喜びも悲しみも幾歳月」「無法松の一生」ほか
- 3月14日(水)~18日(日)  
特集 カメラマン田村正毅 「1000年刻みの日時計・牧野村物語」「さらば愛しき大地」「旅するパオジャンマー」ほか
- 3月20日(火・祝)~24日(日)  
特別企画 福岡アンダーラウンド映画祭 「赤軍-P.F.L.P.・世界戦争宣言」「空、みたか?」「タージマハル・トラベラーズ」ほか
- 3月25日(日)  
特別企画 サイレント映画 弁士・楽団付き上映 Vol.5 「瀧の白糸」(最長版)

## Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

### 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

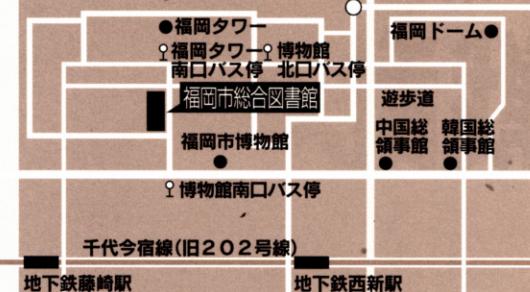
## 2月

### 上映スケジュール

1 木	14:00 ハノイ、1946年冬	19:00 ハノイの少女
2 金	14:00 祈り	19:00 空白のページ
3 土 戦	11:00 レッド・ロータス	15:00 大いなる路
4 日 亂	11:00 戦火の中へ	15:00 血と祈り
休館日		
6 火 の	休映日	
7 水 20	14:00 カルヘからラインへ	19:00 帰らざる海兵
8 木 世	14:00 レッド・ロータス	19:00 戦火の中へ
9 金 世	14:00 血と祈り	19:00 大いなる路
10 土 紀	11:00 ハノイ、1946年冬	15:00 空白のページ
11 日 祝	11:00 ハノイの少女	15:00 帰らざる海兵
12 月 脚	11:00 カルヘからラインへ	15:00 祈り
休館日		
13 火	休館日	
14 水	休映日	
15 木 日	14:00 五番町夕霧楼	19:00 地獄門
16 金 本 映	14:00 新選組始末記	19:00 点と線
17 土 映	11:00 伊豆の踊子	15:00 青春の門
18 日 画	11:00 点と線	15:00 瀬戸内少年野球団
休館日		
20 火 文 学	休映日	
21 水 散 歩	14:00 瀬戸内少年野球団	19:00 伊豆の踊子
22 木 地	14:00 地獄門	19:00 五番町夕霧楼
23 金 青 春	14:00 青春の門	19:00 新選組始末記
24 土	自主上映「砂糖菓子が壊れるとき」	
25 日	自主上映「ダイナマイドんどん」	
26 月	休館日	
27 火	休映日	
28 水	月末休館日	

### マリソン

### 百道ランプ



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。  
地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分  
西鉄バス: 天神~都市高速経由~福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約20分)  
博多駅~都市高速経由~福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約25分)  
福岡タワー南口バス停から徒歩3分  
いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

### 編集雑記

「見てから読むか、読んでから見るか」というコピーがはやったのは、ふた昔以上も前のことになるが、今月後半は、シネラで映画を見て、図書閲覧室で原作を読んで、館内でのゆったりとした「文学散歩」のひとときをお楽しみください。一方、「戦乱の20世紀」に目を向けると、日本が関与した戦争も含めて、20世紀のアジアは戦火にまみれた時代であったことが実感される。これからの時代を選択していく若い方々にも是非見ていただきたい。(H・M)